

北薩教育事務所だより

北薩の輝き

令和8年度 第1号 令和8年6月24日発行
北薩地域振興局第2庁舎（川薩保健所内）
所在地：薩摩川内市隈之城町 228-1
電話：0996-20-8771（総務課）
FAX：0996-25-3095

良質な教育環境づくりを推進する北薩の教育

子供たちの未来に責任をもつ

北薩教育事務所 所長 前 保廣

6月を迎え、各学校においては新年度の教育活動も本格化し、子供たちの学びや生活が落ち着きを見せ始める時期となりました。教育関係者の皆様におかれましては、日々、子供たち一人一人に寄り添いながら、熱意をもって教育活動に取り組んでいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

北薩教育事務所では、「良質な教育環境づくりを推進する北薩の教育～生きる力の確実な育成と信頼される学校づくり～」を教育目標として掲げています。そして、その実現に向けて、大切にしたいキーワードが、「子供たちの未来に責任をもつ」です。

教育は、子供たちの“今”を支えるとともに、“未来”を創る営みでもあります。これからの社会は、変化が激しく、先を見通すことが難しい時代です。そのような中であって、子供たちには、確かな学力だけでなく、自ら課題を見付け、仲間と協働しながら解決していく力や、多様な価値観を認め合い、自分らしく生きる力が求められています。

哲学者・教育者である森信三氏は、「教育とは、流れる水に文字を書くような果てしない業である。しかし、それを巖の上に刻むほどの真剣さで取り組まねばならない」と述べています。教育の成果は、すぐに見えるものではありません。しかし、教職員一人一人の言葉掛けや励まし、日々の授業や学級経営の積み重ねは、確実に子供たちの心に刻まれ、その後の生き方に大きな影響を与えていきます。だからこそ、私たちは子供たちの未来に責任をもち、一人一人を大切に教育を進めていかなければなりません。

一方で、学校現場では、学力向上、不登校やいじめへの対応、特別な支援を必要とする児童生徒への支援、ICT活用の推進など、多くの課題に向き合っています。そのような中で、今、大切にしたいのは、子供主体の学びを実現する授業づくりです。教師が一方的に教えるのではなく、子供たちが自ら問いをもち、対話を通して考えを深める授業を積み重ねることが、「生きる力」の育成につながります。また、その基盤となるのは、教職員同士が心から支え合い、組織的に取り組む学校づくりです。

「子供たちの未来に責任をもつ」。この思いを北薩地区の全ての教育関係者で共有し、子供たちが安心して学び、自分らしく成長できる学校づくりを、ともに進めていきましょう。

「学習者主体の授業」づくり ～「北薩の授業づくり3ポイント」の活用～

「学習者主体の授業」とは

「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」の視点をもった
「主体的・対話的で深い学び」が実現する授業

「北薩の授業づくり3ポイント」とは

「学習者主体の授業」づくりを推進するものです。また、「学びの羅針盤(令和8年3月改訂)」と「令和7年度調査研究発表会資料(教育センター)」、「北薩地区学力向上アクション(令和7年9月)」に準拠しています。

【構成】

単元・題材全体の構想

目標の明確化

振り返りの充実

子供が選ぶ・決める・関わり合う学び

【活用場面】

・毎日の授業づくり

・学習指導案の作成時

・職員研修等



3ポイントの中には、「目指す子供の姿」11項目と、特に大切にしてほしい「授業者の働き掛け」4項目を提示しています。

こちらからダウンロード



「闇バイト」は犯罪です

インターネットやSNS等で「高額報酬」等を検索したり、「お金が欲しい」といった旨を書き込んで、犯行グループからメッセージが届いたりすることが、闇バイトへの応募のきっかけとなっているようです。

一時の利益を手に入れるために応募した結果、犯罪に加担することになり、自分や自分の家族はもとより、犯罪によって被害者やその家族に一生消えることのない深い傷を与え、自他の人生を台無しにしてしまう事例が多発しています。

「闇バイト」は、犯罪に加担する行為であること、その実態や危険性、悪質性等について、具体的に指導していくことが重要です。



熱中症に注意！

◎ 暑さ指数（WBGT）の確認
環境省では、熱中症の危険性が特に高い日には「熱中症警戒アラート」を発表しています。

HPなどで情報を確認し、健康で無理のない生活を心掛けましょう。

- ◎ 熱中症予防のポイント
- ・ 帽子等により日差しを遮り、通気性や透湿性の悪い服装を避ける。
 - ・ 運動を行う前後も含め、適切に水分を補給する。
 - ・ タブレットなどを用いて水分だけでなく塩分も補給する。
 - ・ 児童生徒同士や周囲の人たちと、互いに水分・塩分補給や休憩の声掛けを行う。



【環境省：熱中症予防情報サイト】

社会教育関係団体指導者等研修会

6月6日（土）、マルマエ音楽ホール出水を会場に研修会を実施しました。本年度は出水市多文化共生推進室の国際交流員である銅網 メロ アンジェラ アユミ氏と、NPO法人さわやか出水女性の集い理事長の矢野 ミツ 氏に講演をしていただきました。

北薩地区から140人が参加しこれからの共生社会を生きていく上で大切なことや、少子高齢化社会の中でのボランティアの在り方などについて深く考える機会となりました。



文化財の紹介（R7新規指定）

北薩地区では、令和7年度、3件の文化財が新たに国・県に指定されました。

- 国指定天然記念物
 - ・ 甌島片野浦のカノコユリ群落
- 県指定有形文化財
 - ・ 藤田家住宅 オモテ ナカエ 附附属屋 氏神 石垣 石門
 - ・ 木造阿弥陀三尊像 附木造僧形立像

この他にも北薩地区にはたくさんの文化財があります。【かごしま文化財】で検索すれば掲載されています。

不祥事根絶！共に取り組みましょう！

本県では、教職員への信頼を揺るがす不祥事が、相次いで発生しています。

不祥事は決して一部の特別な人に限った問題ではありません。日常の中の小さな心の隙が、不適切な行動につながる可能性があります。「自分は大丈夫」という思い込みを持たず、常に自らを振り返る姿勢を持ちましょう。

教育は信頼の上に成り立っています。子どもたちが安心して学べる環境を守るため、服務規律の確保と不祥事の根絶に向けて、共に取り組みましょう。

R8北薩教育事務所機構図

